

2026 年 1 月 16 日

森林を守ろう！山陰ネットワーク会議

事務局 宛

会員名	NPO 法人もりふれ倶楽部
代表	理事長 土山幸延

「アドバイザー事業」利用報告書

- 開催日：2026年1月10日（土）10:00～13:00
- 会場：出雲西高等学校 理科室（出雲市下古志町）
- 参加者：3団体 合計：32人

団体名・個人名	人数	団体名・個人名	人数
① 出雲西高等学校	20	④事務局	1
② NPO 法人もりふれ倶楽部	9	⑤ネットワーク会議アドバイザー	1
③ 出雲市林業振興協議会	1		

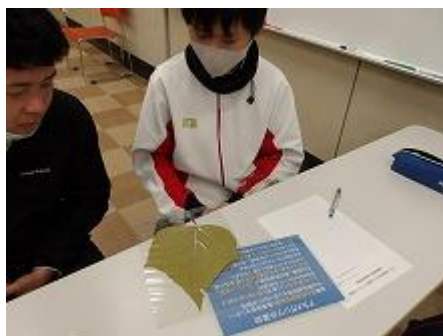
4. 活動内容

活動項目	時 間	具体的内容
講 演	10:00～11:10	講演：「田舎（森林・里山）の贅沢」 講師：アドバイザー 佐藤仁志氏 薬草抹茶の実習
活動発表	11:20～11:45	出雲西高インターアクトクラブ活動発表
実践体験	11:50～12:20	スギの皮で和紙づくり 講師：藤原人美氏
昼食交流会	12:30～13:00	昼食（カレーライス）を食べながら交流

5. 活動の状況

- 講演では、島根県の豊かな自然について話を聞きました。それが田舎の魅力であり、島根県の財産であることを知ることが出来ました。田舎の贅沢の一つとして、アカメガシワの抹茶を製作し皆で飲みました。参加者は身近な樹木には薬効があり、お茶として利用できることに驚いていました。
- 活動発表では、生徒が環境問題や地域の課題に積極的に取り組んでいる様子に感心しました。今後も活動を応援していきたいと思います。
- 実践体験では、タブノキとスギを使用した紙漉き体験を行いました。薬品を使わず2種類の植物だけで紙が出来る事に驚いていました。自然物利用の一端を体験できたと思います。
- 交流会ではみんなでカレーを頂きました。身近な樹木の利用について話をしている様子が伺えました。

～佐藤仁志氏講義～「いなかのぜいたくについて考える」と題して島根県の食や産業、地質について話がありました。



～出雲西高等学校インターアクトクラブの活動報告～

マイクロプラスチック汚染と林業活動学習について報告がありました。



～和紙つくり～

間伐材の甘皮で和紙が作れることや甘皮の繊維を絡める役割のネリの説明後実際に漉き器で漉き液を漉いて和紙を作りました。終了後昼食にカレーライスを食べながら参加者たちと交流を行いました。

